



この度、多くの教職員の皆様方のご支持により、前期に引き続き、再び学長に選出されて戴きました。不肖、私と致しましては、誠に光栄なことと思っておりますが、他方、その職責の重大さを考え、あらためて身の引き締まる思いを深く致しております。

前期の学長在任中には、学内外の関係者のご支援とご鞭撻のお蔭をもちまして、本学はかなりの改善、充実に達することができました。

施設面では新関西大学会館、工学部第五実験棟、ハイテク・リサーチ・センターが竣工致し、また千里山キャンパスの環境整備や、学内LANの敷設など情報インフラの整備が進捗しました。

教育面では入試の多様化、第二部教育の多様化、長期在学制度の導入、外国語教育および教養教育の改革、国際交流の充実、人権問題への取り組みなど、今後さらに改善、充実されるべき点も多いものの、新たな改革の第一歩を踏み出して戴きました。

さらに、研究活動の活性化を支援するハイテ

ク・リサーチ・センターや学術フロンティア・センターの設置に加えて、重点領域研究費も創設して戴きました。

その他、各学部、大学院各研究科、各研究所などにおいてもカリキュラムの改訂など様々な改革が着々と進行しております。

しかしながら、これから我々が解決しなければならぬ課題も山積しているように思います。

関西大学が二十一世紀に向けて、より活力に富み、持続的な発展を遂げ、世界共通の課題解決に貢献していくためには、我々が自らの存在意義を再確認し、個性ある教育と研究活動を通して、社会から負託された使命に応え、真に卓

越した高等教育機関へ脱皮する必要があると思えます。

しかし、わが関西大学が、過去一世紀有余にわたり、先輩、先人達が営々と築いてこられたその伝統を踏まえつつ、社会のニーズに応え、さらに時代を先取りするような改革を実現するということは容易ならざることです。

本学に限らず、二十一世紀を目前にして、我が国の大学は、今、曲がり角に差し加かっております。少子化の進行に伴う十八歳人口の激減という事態に加えて、大学を取り巻く環境は、政治、経済、社会のいずれの分野においても激動の最中にあり、グローバル化の波が押し寄せ、需給関係が変化し、産業の空洞化が

のであらねばなりませんし、そのためには、所謂リベラルアーツ・アンド・サイエンスの習得が基本であろうと思えます。そしてその幅広い教養を踏まえて、自分が選んだ専門の学問をすること、そしてその学問を通して、その歴史を学び、過去の知識を取り込むと共に、自らの思考力を高めることでありましょう。今後学部は教育機関の色彩を一層強め、研究と教育が一体化した機関としては大学院の役割が何より大きなものになるであります。

大学のもう一つの大きな役割である研究について言えば、本学の研究活動が益々活発になり、その成果が、人類が今まさに直面している環境問題や人口問題のようなビッグ・プロジェクトの解決に貢献するものであらねばならないことは申すまでもありません。

我々が、今なさねばならないことは、大学の質を高めることであります。

大学の質は、入学する学生の質、教育の質、卒業生の質、研究の質に端的に現れてきます。我々が、これら全ての側面における質の向上に資するような環境の整備を図り、質の向上を目指す諸施策を、勇気をもって実行に移すと共に、それらを粘り強く遂行し、かつ自己点検を重ねつつ改善・改革をはかっていくことが肝要であります。本学がそういった自己改革や大学改革をなし遂げるならば、「大学冬の時代」に沈滞するようなことは断じてなくて、二十一世紀において、春の陽光に燦然と輝く存在であることを信じて疑いません。

もとより私自身は浅学非才でありますので、すべての構成員の皆様方の英知の結集をお願い致しますと共に、これまでも増してのご支援とご鞭撻を衷心よりお願い致します次第であります。

晩秋の候。日差しが日々弱くなり、暮れるのも早い。木枯らしが吹き、一雨ごとに寒さが増す。歩道には落ち葉が敷きつめられる。以前は大人の季節と感じられたこの頃が、歳をとるにつれていかな季節になりつつある。ただ、この時節、旬の食材が豊富なのが救いであろうか。

▼そんな秋の夜長、十二月に開催される地球温暖化防止京都会議の記事を読んだ。我が国が議長国をかつてた、珍しく指導力を発揮しようという意欲に燃えた会議のはずであった。しかし、会議の指導よりも調整の役回り演じている。時を同じくして、世界的に株価が下落した。どの国も真剣に対策を検討している。温暖化は、世界的に温暖化ガスの排出量が増えることによってもたらされ、結果として平均気温が上がるのである。なぜ、後者は前者ほど、人々に考えさせる機会を与えないのであろうか。

温暖化によって、今まで人類が遭遇しなかったウィルスが広がる可能性も十分考えられるのである。旬の食材が手に入らず、未知のウィルスに脅かされるような状況は想像するだけで気が滅入る。対策は早いほど、強力なほど、好ましい。私も自分ができることから始めてみよう。

(舟場拓司)

学長再任にあたって

石川 啓

危惧され、そして情報化の進展は、文字通り日進月歩であります。

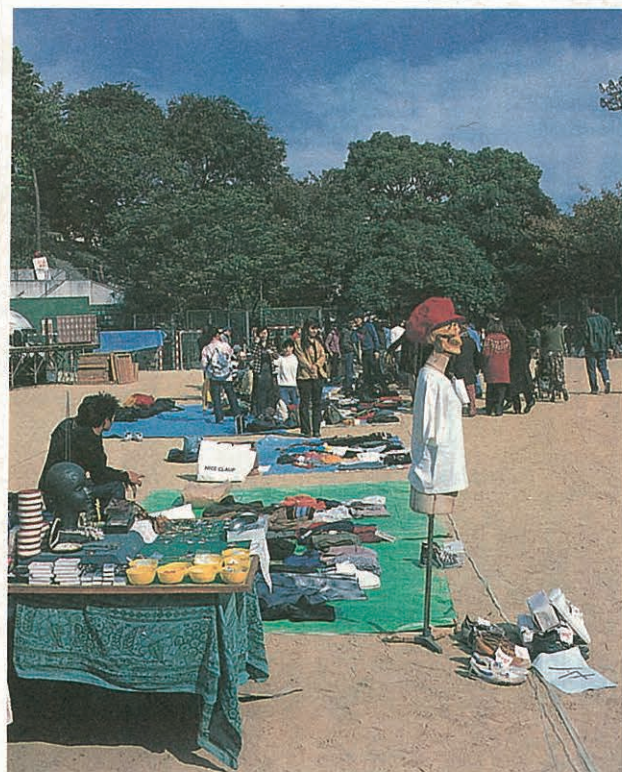
そして大学に対して、社会からは豊かな創造力と柔軟な思考力、そして国際性に富んだ人材の養成が強く求められております。

十八歳の二人に一人が、所謂高等教育機関への進学をするようになったいま、大学の教育課程や教育方法が、かつてのエリート養成の時代のそれでは機能しないことは自明のことです。

我々は、「大学とは何であり、とりわけ私立大学はいかにあるべきか」を、いま一度、自ら問い直し、将来を展望することが必要でありましょう。教育について言えば、大学の教育は学生諸君の知性、理性、感性を一層磨いて戴くためのもの

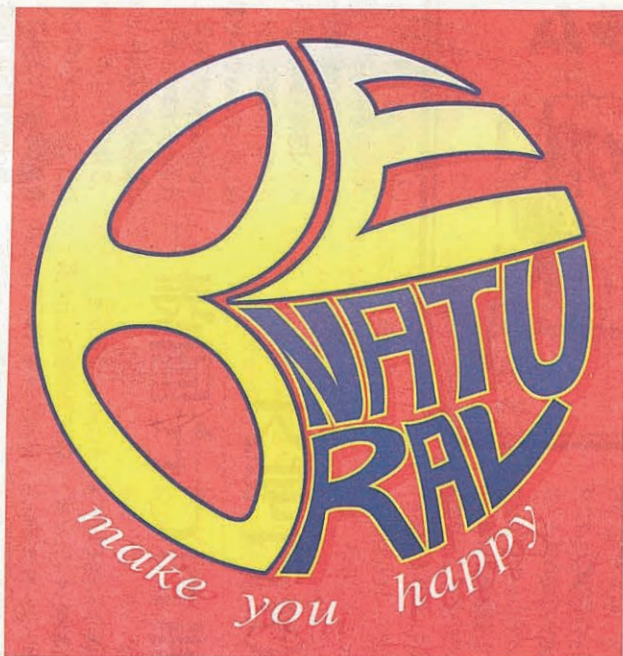
HEADLINE

- 2 面 学年暦の変更
- 4・5 面 学園祭特集
- 6 面 経済学部(第1部)、専門教育科目にセメスター制
- 7 面 特集 新刊紹介
- 8 面 図書館だより・研究室訪問



秋の最大イベントである学園祭が、十月十一日から一月五日にかけて開催された。十一月二日は第2部千夜祭、二日からは第1部「学園祭」である。多数の催し物があつた。キャンパスは、学生諸君と学外入場者の興奮の渦に包まれた。学園祭は、学生諸君が自ら企画を立て、苦勞し、進歩の喜びを味わう貴重な時間である。実行委員会を始め多くの学生諸君が早くから準備に取り組んだ。青春のエネルギーを燃やしながら大きく成長していく姿は、うらやましくもある。努力が、外部の人からも評価されることを願いながら、今年はアンケート調査を行つてみた。題して「関大生以外から見た学園祭」。来年度の学園祭に生かされることを期待したい。

学園祭



今回の本紙における学園祭特集のテーマは「関大生以外から見た学園祭」である。これは、各大学が十月のほぼ同期に学園祭を開催しているのに、「関大に比べて理由は何か、また、本学の特色は何か」ということを、本学の学生以外の方から調査しようとする企画である。

例年、学園祭実行委員会の学生は、夏休みの前から企画を立案し、有名人を招き入れる方々のほか、さまざまな趣向をこらして手作りの学園祭をすればよいのか、かんかんががく議論を行つていく。このアンケート結果が今後の企画に生かされていくことを期待する。

関大生以外から見た「学園祭」

100人アンケート

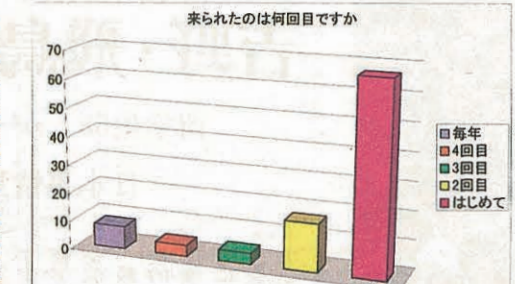
初めの方67%
最初の質問は、学園祭は何を思い出したか。一番多かったのが「初めて来た場所」。六十七人を数えた。これは後の質問「学園祭に来た理由」の結果と連動しているように感じられる。

つまり「友・知人」から誘われたからと「学園祭」を見たからと「約〇%」近くになっているところも、初めて来た場所が多いためである。

また、二回目の参加が十七人と二割に満たない。これは、一割に満たない人が「友・知人」から誘われたからと「約〇%」近くになっているところも、初めて来た場所が多いためである。

友・知人から誘われたからと「約〇%」近くになっているところも、初めて来た場所が多いためである。

学園祭に望むこと
「もっとエスニックな」
「もっと盛り上げる」
「もっとエスニックな」
「もっと盛り上げる」
「もっとエスニックな」
「もっと盛り上げる」



実施日
十月三十日
十一月一日

アンケート内容

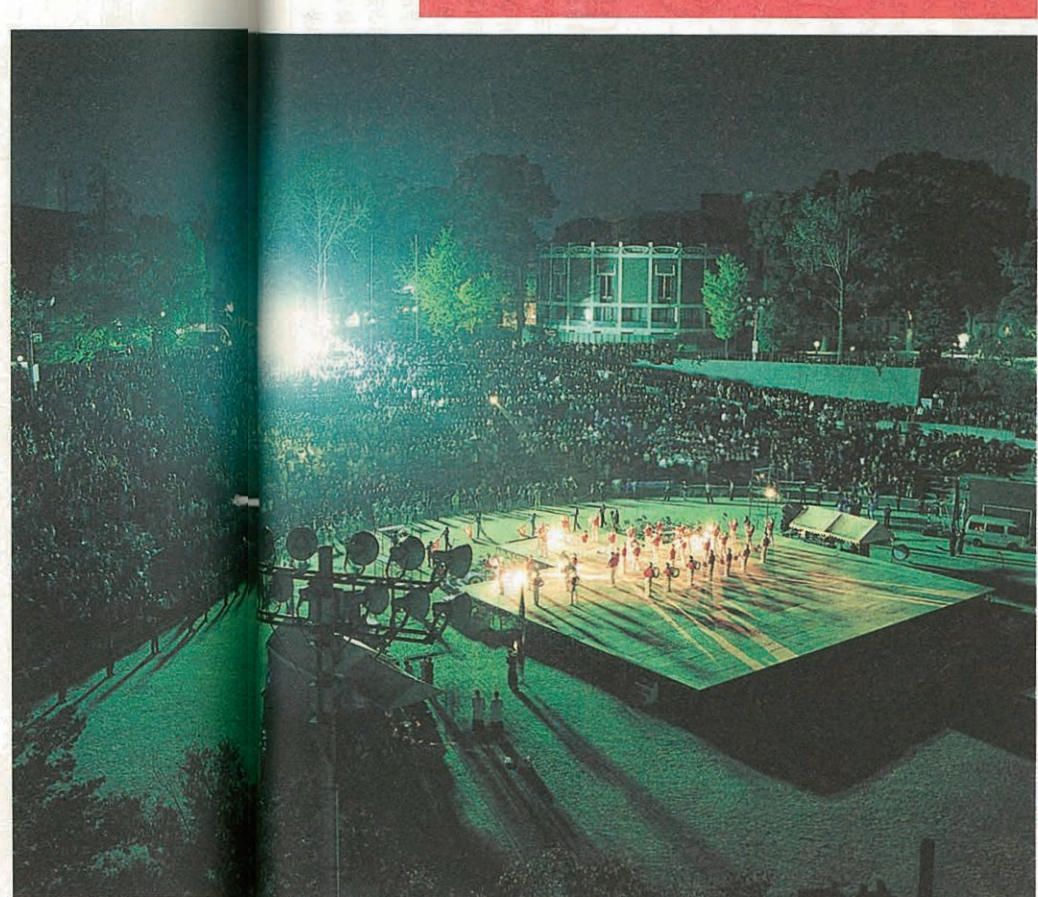
- Q1. 学園祭に来たのは何回目ですか？
毎年……8人
4回目以上……4人
3回目……4人
2回目……17人
初めて……67人
- Q2. どのようにして学園祭のことを知りましたか？
友人・知人から……58人
雑誌・広告を見て……20人
・関西ウォーカー・びあ
・千里タイムズ
インターネットを見て……0人
その他……22人
・近くに住んでいるから
・幼稚園からの手紙で
・家族が関大生だから
・後輩からの連絡で
- Q3. なぜ、学園祭に来たのですか？
おもしろい企画があったから……13人
友人・知人に誘われたから……34人
以前、来てよかったから……8人
学園祭を一度見たから……23人
その他……22人
・面白そう
・何となく
・暇だったから
・出会いを求めて
・近所だから
・通りがかりで
- Q4. 関大の学園祭は何か有名ですか？
(複数回答有り)
模擬店……24人
ステージ企画……14人
講演会・シンポジウム……6人
クラブ・サークルの発表……4人
後援祭……11人
分らない……16人
- Q5. 関大の学園祭に望むことは何ですか？
(主な意見)
・パンフレットを見やすく
・バラエティに富んだ模擬店を
・地域に密着した学園祭に
・子供やお年寄りに関係を持った学園祭に
・もっと有名な芸能人を呼んでほしい
・もっと企画を増やしてほしい
・正門から会場までが遠い(第2部)
・このままで十分
- Q6. 他大学の学園祭と違う点は何ですか？
(主な意見)
・規模が大きい
・人が多い
・盛り上がりがある
・開放的
・雰囲気が良い
・元気がいい
・模擬店が多い
・派手である
・下がある
・子どもが少ない
・活気があつて
・居ない
・企画が多い
・女の子が多い

Funky Go Go Night!



千夜祭

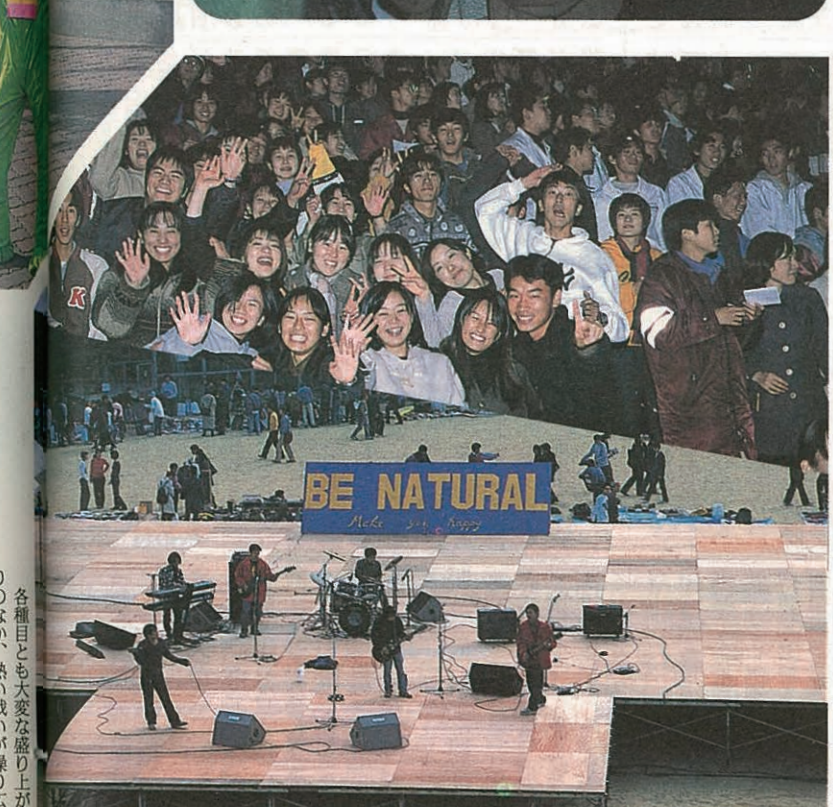
大学生



第28回スポーツ週間

8種目で熱い戦い

- 第1部「食」部
十一月六日(土)十一時
十一月七日(日)十一時
十一月八日(月)十一時
十一月九日(火)十一時
十一月十日(水)十一時
十一月十一日(木)十一時
十一月十二日(金)十一時
十一月十三日(土)十一時
十一月十四日(日)十一時
十一月十五日(月)十一時
十一月十六日(火)十一時
十一月十七日(水)十一時
十一月十八日(木)十一時
十一月十九日(金)十一時
十一月二十日(土)十一時
十一月二十一日(日)十一時
十一月二十二日(月)十一時
十一月二十三日(火)十一時
十一月二十四日(水)十一時
十一月二十五日(木)十一時
十一月二十六日(金)十一時
十一月二十七日(土)十一時
十一月二十八日(日)十一時
十一月二十九日(月)十一時
十一月三十日(火)十一時
- 第2部「演」部
十一月六日(土)十一時
十一月七日(日)十一時
十一月八日(月)十一時
十一月九日(火)十一時
十一月十日(水)十一時
十一月十一日(木)十一時
十一月十二日(金)十一時
十一月十三日(土)十一時
十一月十四日(日)十一時
十一月十五日(月)十一時
十一月十六日(火)十一時
十一月十七日(水)十一時
十一月十八日(木)十一時
十一月十九日(金)十一時
十一月二十日(土)十一時
十一月二十一日(日)十一時
十一月二十二日(月)十一時
十一月二十三日(火)十一時
十一月二十四日(水)十一時
十一月二十五日(木)十一時
十一月二十六日(金)十一時
十一月二十七日(土)十一時
十一月二十八日(日)十一時
十一月二十九日(月)十一時
十一月三十日(火)十一時





インド憲法

今年も厳しいが、この行動自体、在来の社会的規範を変える過程のそれとも考えうる。本号の関大フォーラムではジェンダーの問題を取り上げている。

恒例の学園祭特集が第4・5面に掲載されている。講演会、模擬店、演奏会などは今や学園祭の風物詩ではあるが、翻って、多数の参加者を学外から吸引するのは、おでんでは決して無く、魅力ある学生とキャンパスなのであるから、盛況は喜ばしいことである。

(木庭元晴)

の多様さに思う。紹介された図書は、図書館に配備されている。

インド憲法の描く「国家と自由」
非西欧国家からの発信

る。
恒例の学園祭特集が第4・5面に掲載されている。講演会、模擬店、演

KUカレンダー

11月
27日 (木) ◇ハイテク・リサーチ・センター記念シンポジウム「古代史発掘」文・網干善教教授、「産学共同のあり方」スタンフォード大学 水野博之教授

◇情・大阪府育英会奨学金受領資格確認 (～28日まで)

28日 (金) ◇経商合同学内ゼミナール大会

12月
1日 (月) ◇総合情報フォーラムⅧ
◇在学生下宿紹介一時休止 (3月16日まで、1月7日～9日除く)

2日 (火) ◇情・関西大学奨学金採用手続説明会
◇外国語による特別講演会
「The Environmental Stability of Graphite Intercalation Compounds」ミュンヘン大学 Jurgen Walter 研究員

3日 (水) ◇文・セミナー「卒論と就職一その戦略を語る」リクルート 飯塚 淳恵氏、全日空 清水理恵氏

4日 (木) ◇文・学術講演会「第2言語習得の教授理論」フライブルク教育大学 ギドー・シュミット助教授
◇大学院祭 (～6日まで)

5日 (金) ◇商・講演会「長江流域開発と中国経済の将来」復旦大学 張暉明教授

8日 (月) ◇学年末試験時間割発表
◇商・講演会「ベトナム経済の現状と人材育成(仮)」ベトナム グエン・ミン・ヒエン教育大臣
◇図書館常設展・図書館蔵書紹介③
「大阪文芸資料作家特集 その2 明治の詩歌」(1月17日まで)

10日 (水) ◇経政研公開講座「市場の成熟化と日本企業の競争戦略」情・小松陽一教授

20日 (土) ◇授業終了

21日 (日) ◇冬季休業 (1月7日まで)

22日 (月) ◇補講日 (～25日まで)

次号は1月8日発行の予定です

吉田初三郎と
パン・ラマの世界

阪から神戸をぬけ、天の橋立に至る馴染み深い観光ルートを紹介した「神戸有馬電鉄沿線名所図」など、ほとんどは片手サイズの観光パンフレットである。中には、「関東震災全地域鳥瞰図絵」のように、関東大震災による被害状況が、克明に描かれた記録地図もある。また、どの名所図絵にも殆どと言っていいほど宮崎士山が、紙面のどこかに描かれていてところなどは、初三郎の洒落たあそび心の表れでもあり、眺めていて楽しい。皆さんも、たまには「地味」の歩き方を置いて、「名所図絵」片手に旅に出てみてはいいかげだろうか。

▲編集後記▲

祭りのあと、秋冷のキ

「関西大学史展」開く

大正十一年の千里山ギャンパス開設から昭和六十一年の創立百周年までの本学の歩みを関係資料等でたどる「関西大学史展―千里山・天六時代―」が十月三十日から来年一月二十九日まで新関西大学会館北棟一階アトリギャラリーで開催されている(ただし、日曜祝日と十二月二十六日から一月六日までは閉館)。

► 編集後記 ◀